

消化管がんに対する光音響診断画像の検証

研究対象：

研究許可日から 2023/12/31、国立がん研究センター東病院で内視鏡切除、外科的手術が予定されている食道がん、胃がん、大腸がんの方々の手術後の検体を用いて、光音響診断画像を用いた消化器がんについての情報収集を試みます。

研究概要：

消化管がんの治療前の診断としては、内視鏡診断が行われます。その際適切な治療方針を決定するために深達度診断をしますが、現在の診断する画像では確実ではなく、本来手術が必要でない患者さんも手術になることがあります。

光音響画像は、光と超音波の長所を融合した放射線被爆のない新しい画像診断であり、造影剤の使用なく非侵襲的に微細な血管分布の画像化が可能な手法であります。この技術を用いることでがん組織において正常組織と異なる血管ネットワークが描出でき、消化器がん診断への応用が期待されています。そこで、内視鏡的切除、手術された検体に光音響画像診断を行い、消化管がんの診断に有用であるかを今回の研究で調べます。

方法：

本研究は、国立がん研究センター東病院で、内視鏡的切除、手術の予定されている患者さんを対象として、研究内容を説明し、同意を取得します。同意を取得されました患者さんの内視鏡的切除、手術直後の組織に光音響診断画像を行い、情報を収集します。摘出された組織は、データの収集が終わりますと、通常の手順通りの顕微鏡を用いた病理学的な検査が行われ、最終的な診断が行われます。この試験による最終診断への影響はないものと考えております。また、最終診断がついた後に残りました組織をさらに使用し、データを収集したいと考えております。

なお、研究期間は、研究許可日から 2024/6/30 です。

研究で用いる光音響診断画像装置は富士フイルム株式会社から借用します。

個人情報保護に関する配慮：

閲覧する診療録には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定されないやり方で情報を収集します。患者さん等からのご希望があれば、その方の診療録は研究に利用しないようにしますので、いつでも次の連絡先まで申し出てください。

研究代表者/研究責任者/研究事務局：

国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科 医長

新村 健介

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科 医長

新村 健介

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉6-5-1

FAX 04-7134-6928/TEL 04-7133-1111

共同研究機関：

防衛医科大学校 医用工学講座 教授

石原 美弥

〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2